

羽川荘解体撤去工事設計単価入替業務委託 特記仕様書

本委託業務は、『公共建築設計業務委託共通仕様書(令和3年改定)』(以下「共通仕様書」という。)のほか、この特記仕様書により実施するものとする。

1 業務目的

本業務は、公共施設再編整備計画に基づき、廃止決定をした羽川荘の解体及び敷地の整地に必要な設計図書及び解体工事費積算業務を行うことを目的とする。なお、解体撤去に伴う設計図書は平成26年度に作成済みであることから、単価の再計算及び追加事項等の精査をするものである。

2 設計業者に従事する者の資格

受託者は、建築士法に基づく1級建築士の資格を有する者を監理技術者と定め、設計業務に従事させること。

3 業務名称

委託名 羽川荘解体撤去工事設計単価入替等業務委託

4 施設概要

- (1)施設所在地 魚沼市中子沢1372番地
- (2)解体対象建物
羽川荘 延床面積1423.17㎡ 鉄筋コンクリート造・地上4階建

5 業務にあたっての留意事項

再委託の禁止(委託契約条項を参照)

受託者は、委託業務の処理について、その全部又は大部分を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ書面により委託者に申請し、その承諾を得たときは、この限りでない。

6 法令の遵守

本設計の実施にあつては、建築基準法、消防法、その他関係法令規則等を確実に遵守すること。

7 官公庁等手続き

官公庁等への手続きは、全て受託者の責任と負担において行うこととし、設計に計上すること。

8 協議・調整

本委託業務を遂行するにあたり、関係機関との協議調整を行い、その結果を設計に反映させること。

9 提供資料

提供既存図の閲覧は、施設の安全性及び防犯上の支障を考慮し入札参加者のみとする。

提供既存図の閲覧を希望するものは、一般競争入札参加申請書の提出時に産業経済部観光課に申し出ること。

- ①羽川荘解体撤去工事設計書(平成26年度設計分)
- ②羽川荘解体撤去工事設計書添付図面(平成26年度設計分)

10 業務の実施

- (1)業務の着手に際しては、事前に業務計画書を提出し、監督員の承認を受けること。
- (2)業務の遂行上必要な資料で、市が所有する資料は原則貸し出しとし、業務完了と同時に返却する事。
- (3)各成果図書及び書類については、事前に監督員の確認を受けること。
- (4)成果品は全て発注者の所有とし、発注者の承諾を受けずにほかに公表、貸与又は使用させてはならない。
- (5)本対象地は、騒音及び振動の規制対象地域であることから工事に際しての必要な措置の検討を行うこと。
- (6)事前のアスベスト調査場所以外でアスベストを含む建材等の使用の疑いがある箇所については、監督員と協議し、必要な調査を実施する事。
- (7)工事実施に向けての工事工程の検討を行うこと。

11 地元関係者との交渉等

受注者は、地元関係者への説明、交渉等は監督員等が行うものとするが、監督員等から指示がある場合は、受注者はこれに協力するものとする。

12 土地の立入り等

受注者は、屋外で行う業務等を実施するため国有地、公有地又は私有地に入る場合は、監督員及び関係者と十分な協調を保ち業務等が円滑に進捗するように努めなければならない。また、第三者の土地への立入りにあたっては、身分証明書を常に携帯しなければならない。

13 安全等の確保

受注者は、屋外で行う設計業務等に際しては、設計業務等関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保に努めなければならない。また、特記仕様書に定めがある場合には、所管警察署、道路管理者、鉄道事業者、河川管理者、労働基準監督署等の関係者及び関係機関と緊密な連絡を取り、設計業務等実施中の安全を確保しなければならない。

14 設計図書の作成及び提出部数

(1) 実施設計書類 1部(A4版及びエクセルデータで提出)

① 工事費内訳書 ② 見積書 ③ 数量計算書 ④

(2) 実施設計図書 1部(A3判及びPDF、JWWデータで提出)

① 特記仕様書 ② 配置図 ③ 平面図 ④ その他必要な図面

15 その他

本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し、その指示に従うこと。